



〈雑録〉大西洋ニ於ケル海運業

渡邊, 水太郎

(Citation)

経済學商業學國民經濟雜誌, 5(2):231-241

(Issue Date)

1908-08

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051292>



雜 錄

太西洋ニ於ケル海運業

商學士 渡邊水太郎

日露戰爭ノ當時一時復活ノ狀態ヲ示シタリシ太西洋ニ於ケル海運業ノ景況モ、其後歐米ニ於ケル一般經濟界ノ不景氣、石炭及其他諸物價ノ

一、貨物船ヲ主トスル汽船業

社 名	拂込 資本金	社債、借 入金支拂 手形等	諸積 立金	船 舶	航海 利益金	配當金	同上 率	船舶減 價引除
アバーデーン、ニユカウスル、 アンド、ハル、汽船會社	三三八八	一、五五〇	六、五〇〇	三	二〇九三	二五七〇	四一七四	二、二五〇
アルバーニ汽船會社	一〇、三〇〇	—	—	一	一、七七一	八、〇〇〇	四、八	二、五七
オースチン、フライアース汽船會社	二三八、二五〇	七九、四四〇	—	二	三、三三三	三〇七、七元	一、三五五	—
アトランチック、アンド イースターン汽船會社	二、二六〇	二、七二五	八、八二	七	一、五六二	二、九四〇、四八	損失	一、八四九
ブリテーン汽船會社	四、三九六〇	一〇、〇〇〇	一、六〇三	三	八、〇三	六、五五、四	五、七七八	三、二九六
ブリチツシ、マリチム、トラスト	四、九〇、二六六	四、四七〇	—	一七	五、九〇五	七、五三六	六、六四	二、四五三
バーネット汽船會社	一〇〇、〇〇〇	二八、〇〇〇	一、二六四	九	一〇、五七	二、九七九	二、七九元	六、〇〇〇
カレドニア汽船會社	七、七九五	二、三三	一、五九	二	九、五八	六、八三	二、〇六	—

騰貴等ニヨリ、再ビ悲境ニ陥リ、今ヤ英國其他ノ諸港ニ空船トシテ繫船セラル、モノ數百艘ニ上リ、歴史上未ダ嘗テ見ザル所ノ悲慘ナル狀況ヲ呈スルニ至レリ。

今最近「フェアプレー」雜誌ノ記スル所ニヨリ英國ニ於ケル主要汽船會社ノ千九百六年度ニ於ケル營業成績ヲ左ニ示サント欲ス。

第五卷 (二三二)

雜錄 太西洋ニ於ケル海運業

第二號 (八二)

カメロン汽船會社	三〇二五〇	—	一〇〇〇	—	一	三〇四四〇	三〇七五〇	四三〇一	一九六六	61 $\frac{1}{2}$	—
クラファム汽船會社	八四三〇〇	一〇八〇〇	四七五二	—	六	一六八三三	一〇三六〇一	九九六四	六三三六	71 $\frac{1}{2}$	三〇〇〇
カールトン汽船會社	四五九六〇	七六五〇	六〇〇〇	—	四	八三三四	八八九六	七六四二	二五二五	5.47	三〇〇〇
コリンシアン汽船會社	七六八五	二七四六	四八〇〇	—	四	一三五七二	九三五四	九八九七	一九〇	21 $\frac{1}{2}$	五五〇
クレーク、ライン汽船會社	九九九〇〇	一〇四五三	—	—	三	九二〇九	一六三六六〇	一五六二八	二四七	21 $\frac{1}{2}$	六〇〇
キュバン汽船會社	九四五〇〇	七六二四	—	—	六	一九二六八	一八三四八五	一〇〇三五	—	—	—
デン汽船會社	六七三八〇	三五三〇〇	—	—	四	一〇八五二	九五四四八	三四八一	—	—	—
ドワグート汽船會社	一九一四四	八三〇八〇	四六五九	—	六	二〇七〇九	一九六六六	九〇二三	六六〇九	4 $\frac{3}{4}$	—
ダンデイー、セム、ライン	六五〇〇〇	—	—	—	八	九一二五	六〇五三	六六九〇	二六五	21 $\frac{1}{2}$	三〇〇〇
ダンデイー、汽船航海會社	二九九〇〇	三三九五四	—	—	二	五五二八	六四三六〇	五七四七	—	—	六五〇
ダンデイー船主會社	三八七〇〇	—	三六〇〇	—	四	五八七二	二六〇〇〇	七七八	九六七	21 $\frac{1}{2}$	—
エステイキア汽船會社	三五〇〇〇	四、八六六	—	—	二	五五七九	七四九四八	四〇三八	二七五〇	5	—
エスクサイド汽船會社	六三三〇	一九二七七	三〇〇〇	—	三	九四七九	七三二五八	四七七七	一五六四	21 $\frac{1}{2}$	七五〇
イースターン、アンド オーストラリアン汽船會社	九七八四〇	七四〇〇〇	一二六二	—	三	一一八九〇	一二六四〇五	六八五一	—	—	一四四一
フアーグローヴ汽船航海會社	二二九九〇	四、六六〇	一一〇〇〇	—	一一	三三一八七	二六五五〇六	二五〇五七	一一、四六	5	五五〇〇
フイールド、ライン	五四三六〇	八三〇〇〇	一一五〇〇	—	五	一一、八四〇	二二六七四二	九三三九	一一、五九	21 $\frac{1}{2}$	三五〇〇
フイールド汽船會社	四八五〇	三三二〇〇	—	—	三	八四五四	七四二九〇	四八六八	二四三五	5	三〇〇〇
ケール、アンド、ウエスト、 ライディング汽船會社	二〇〇〇〇	一六〇〇〇	三〇〇〇	—	四	三二八五	三四七四〇	五二〇	一六、〇〇	8	二二八

ガルフ、ライン	一四二七七	九四二六二	—	四	一二六八九	二〇三五六	一六八八九	—	一〇〇〇
ヘイン汽船會社	一九九七〇	二七二九二	一五〇〇〇	三四	一〇〇七五二	七七四八四	八二四九六	三三四七二	四〇〇〇〇
ハーザー汽船會社	五四〇〇〇	二六四〇〇	一二九六	三	一〇〇三三	七七六九六	九二二	二七〇〇	三五〇〇
ハローウィング汽船會社	二七二九〇	二一三七〇六	—	一〇	三〇〇〇六	二四五二七八	一六三四三	八三七	三三三五
インターナショナル ライン汽船會社	二四九七五	四七三〇〇	三五〇〇九	一〇	二八九九八	二一六七七	二〇五九〇	五二五	一〇〇〇〇
ジョン、ダブリュー、 アンド シー、テイー汽船會	二六〇〇〇	八四四六六	六七四六	一二	四二二五三	三四五五九八	三〇九四	一四〇〇〇	一二〇〇〇
キング、ライン	一九六三八一	二二九五〇〇	七七八九	一一	三八一九四	三六五二五〇	二二一九六	二七八二	四四七七
レンナード運送會社	八六三三〇	—	五〇〇〇	四	九六〇一	七九三〇〇	五六〇〇	六四六七	—
ランカシアー汽船會社	一三〇〇〇〇	—	五六〇四	八	三三四〇	三三八〇八三	二六八三	八八〇〇	一五五九三
レーランド汽船會社	一七三八四	八四七〇〇	三二六六	一一	三〇五〇一	一六三七八	一三三七	—	—
ロンドン、アンド ノーザン汽船會社	二五〇〇〇〇	九八三〇〇	一〇五四三	二〇	五三三三	四三三七六	二四三七一	一四二五〇	—
マツキル汽船會社	一四八四〇	三〇四七一	三三三〇〇	五	一八四六六	一四四一〇三	九五三三	四五九三	三〇〇〇
マンチエスター、 ライナース	四五一五五九	二八〇六七五	四一四八	一四	六二五〇五	七八三三七	四八六七二	一〇九六〇	二五〇〇〇
マーカンタイル汽船會社	三八〇〇〇	—	四三三七三	一五	五〇五七	三四九〇〇〇	三九八九	一八四〇〇	一〇〇〇〇
ミットル汽船會社	二六二二〇	七七八〇〇	五〇〇〇	五	一九五三五	二〇二五三	八七〇〇	四六四八	—
モアー、ライン	三五八六二〇	二七四一一	二七〇〇〇	三三	七五九五三	六三三七四	六九七四三	三〇二六	一五〇〇〇
モリソン汽船會社	二〇〇四八	三七四五	一〇〇〇	二	五三八四	五五九四八	五四八二	八一	二〇〇〇
ノーチラス汽船會社	一四三、四五	一二五四三	二、五四	二一	四〇、八七	三九七三六	二九〇六	七二五	一六七三六

第五卷 (二三四)

雜錄 太西洋ニ於ケル海運業

第二號 (八四)

ネプチエン汽船航海會社	三二二六	—	—	七	三三四九〇	三〇〇〇〇	一三八八八	九八六六	—
ナイトレイト、 プロヂュサース汽船會社	一〇〇〇〇	—	五九五	五	一九七〇九	八三四一八	二四四三三	七五〇〇	一三〇〇〇
ノーフオルク、 北亞米利加汽船會社	二七七五〇	一五〇〇〇	九四〇七	六	三〇五五五	二六五六四〇	一三三三三	五一〇〇	一八四三三
オーダー、 ハンドフオード汽船會社	九五五〇〇	五〇〇〇	—	七	二六五三三	一〇〇五〇〇	一九七五五	七一六三	八五〇〇
ブル汽船會社	二〇〇〇〇	六八四六	一五〇〇	七	二六六七	二六四八六四	二二二八五	二二六〇〇	八五八〇
ビーマン汽船會社	二四七七三〇	一五〇〇〇	五七三〇	一三	四三四二	四七〇四九四	四四二九〇	二二三八六	一六〇〇〇
レゾド、 「アール」汽船會社	五三九九九	七三三八一	二五〇三七	五	一七八七一	一五二一八九	七九〇八	一二九九	二五〇〇
サウスダウソウ汽船會社	七三六八八	九七八三	五七五〇	四	一〇六五	九二二五〇	一一九八五	四三六一	六五〇〇
スザラランド汽船會社	五〇〇〇〇	七六一九九	一〇八八九	五	一七〇六八	二七〇〇〇〇	一一二四一	三七五〇	五〇〇〇
スタールス、 ソレス汽船會社	三三七四七	一八〇七三	四七八一	三	九四六三	九三〇〇五	一〇二六〇	三五二三	四六五一
シヨールフイールド汽船會社	七〇二二〇	一一〇〇〇	—	四	一〇九六	七六九九五	七六三三	三五〇六	—
テローアー、 サンダーフン汽船會社	三八五五〇	—	八八八八	一〇	二八四六三	二二一四五六	七三三九	五七三三	二〇〇〇
テンパレー汽船會社	五五五二〇	五〇〇〇〇	六七一〇	三	一一〇五四	九六一五〇	一四六二	二八六	六〇〇〇
ダイン、 グライス汽船所有會社	五九七八六	六二三四	四〇〇	二	四七七	六五二三	二二七二	二五二	—
サンダーラント汽船會社	一一七三六	二二五五〇	二九二	一	三六七	三四〇〇〇	二二二六	—	—
アルスター汽船會社	一五〇〇〇	一九四二六	六二七四一	一六	五〇七四九	四四四〇〇〇	三三三七七	九七五〇	一五三四九
ウエスト、 アール汽船航海會社	四〇〇〇〇	二九八二五七	三〇〇〇	一八	五八〇二六	七三六四	三七九五	一一〇〇〇	一〇〇〇〇
ウッドフイールド汽船會社	一六四九七	三五〇〇〇	—	一三	五七九〇	二〇八五〇	二四九五六	四一二	五〇〇〇

21½ 2.68 5 21½ 5 21½ 5 5½ 7½ 6 21½ 5 6 7½ 4 7½ 4.67

ウィアデール汽船會社

空 四三〇 四七七八

六 一三九九 一二三〇四 八二八八 三四五七 五〇〇

ウエスト、オフ、

五二〇〇 三六二〇〇

二 八八七 八六四七 五五七七 二六〇五 二五〇〇

スコットランド汽船會社

九二七五 四四八九五

一五六四 一三三三六四 一〇九二五七 三三〇七七 四三三九〇

合 計

九二七五 四四八九五

四九〇 一五六四 一三三三六四 一〇九二五七 三三〇七七 四三三九〇

以上列記セル所ノ六十四汽船會社ノ成績ニ就

テ見ルニ如何ニ其ノ營業ノ不況ヲ極メタリシカ

ヲ想見スルヲ得ベシ。即チ之等會社ノ拂込資本

金總額九千百六十七萬餘圓ニシテ社債其他ノ借

入金總額四千四百四十八萬餘圓ニ達シ、其船舶

ハ四百九十隻百五十一萬六千四百一噸、同帳簿

上船價一億三千七百三十二萬七千餘圓ナルニ對

シ、其航海利益金ハ總額僅カニ千七十九萬餘圓

ニ過ギズ。今之等航海利益金ヨリ前記社債及借

入金ノ利子年五分ト見積モリ金二百二十二萬四

千餘圓ヲ控除シ、更ニ船舶減價償却金トシテ其

現在船價ノ六分即チ金八百二十三萬八千餘ヲ引

除クルモノトセハ其利益金ハ僅々三十二萬六千

餘圓ニ過ギザルナリ。然モ尙ホ店費其他ノ陸上

經費ヲ控除セザルベカラザルニ於テハ海運業ノ

不況ハ寧ロ悲慘ナル絶滅ノ淵ニ臨ミツ、アルモ

ノト稱セザルヲ得ズ。

然ルニ前表ノ示セル如ク之等ノ會社ハ正當ナ

ル償却金ヲ引除クルコトヲ爲サズ、徒ラニ姑息

ノ方法ヲ取り、其引除金ヲ半減シテ漸ク年四分

一厘七毛ノ利益配當ヲ爲スニ至レリ。然レドモ

此ノ如キハ却テ過根ヲ將來ニ殘スモノニシテ、

會社ノ存立ヲシテ愈々危地ニ陷ラシムルモノナ

リ。

抑モ船舶ガ其持續年限頗ル短ク、二三十年ノ

後ニハ殆ンド無代價ニ等シキ廢船トナルコトハ

専門業者ニアラザルモ既ニ熟知スル所ニシテ、

從テ若シ平常ニ於テ之レガ償却ノ途ヲ講ズルニ

非レバ、廢船トナルノ日ニ於テ其ノ資産ハ事實

上ノ空亡ニ歸シ爲メニ會社ハ俄然大ナル損失ヲ

惹起スルコト、ナルベキナリ、上記ノ諸會社ハ × 吾人ハ更ニ郵便旅客船ノ成績ニ就テ其ノ概況
今ヤ實ニコノ危險ナル最後ニ向ツテ走リツ、ア ヲ述ベント欲ス。
ルノ觀ナクンバアラズ。×

二、旅客船ヲ主トスル汽船業

社名	拂込資本金	社債等	艘數	總噸數	帳簿上現價	配當金	同上率
ナショナル汽船會社	二五〇〇〇	九七〇三	四	二六四六四	一四四六五	七〇五	5.23
支那相互汽船航海會社	五〇八、三三五	二四五七	一七	九五九〇二	八三〇三〇	三〇六	5
アフリカン汽船會社	六九三六	四七四三〇	三三	九二九三	一一八八九一	八〇〇	5
キユナード汽船會社	一六〇〇〇	二六五〇四	二六	一八二三四五	三二七一六四六	—	5
エフ、レーランド會社	二六、四三五〇	四六八、九五九	四三	二二七二八	二五五、三九八	—	5
シヨ、サヴィール、	三九、七五〇	二四七七七	※一六	二二七八五	六八六、二八〇	一九五七	5
オリエント汽船航海會社	三九、三三二	一一三、一〇〇	五	三六〇七七	五二、二九四七	一九六六	5
ローヤルメーニル汽船會社	二四八、三三〇	八七、一六〇	四三	一七九六八	二六、四四九三	一九八六	6
ユニオン、キヤツスル、メーニル汽船會社	一、六八四二〇	一〇、二、九四	四四	二六、〇六四	二八、五五七	九九四五〇	6
パイフイツク汽船航海會社	一四七、一一五	—	四七	一六、七三一	一七、五五〇	八、六六七	6
ブリス汽船會社	五五、〇〇〇	六三、一七五	二六	九二、七七	一一、五三四九	四、五〇〇	7.54
印度支那汽船航海會社	一四、五八九〇	二五、六五二	四三	九七、七九四	一〇、六二九八四	二、三九七	21 1/2

アンカー、ライン	五七五,〇〇〇	四六五,〇〇〇	二四	一一三,九四四	一五〇,三六九	三六,九八一	5
プリンス、ライン	六〇一,四九五	九五,〇三七	四〇	一一七,五八六	九〇,四三八	三〇,〇七四	5
ニューシーランド汽船會社	四七三,八四〇	五八,五〇〇	二六	一〇四,三八三	九七,四四九	三六,九八一	5
彼阿會社	二二五,〇〇〇	一八〇,〇〇〇	八六	三三,七八九	三六,〇九〇	二〇,八八〇	9
ハウルダー、ライン	四七四,二四五	三六,五六六	一一	四七,八六四	七四,九八五	—	—
克蘭、ライン	五〇〇,〇〇〇	一一七,三三九	四五	一八,三一六七	一九四,三九三	二五,〇〇〇	5
エラーマン、ラインス	一四〇,〇〇〇	八四,三三〇	七六	二七,九四三	二二,六三九	六,〇〇〇	4.55
パツクノール汽船會社	四五,〇〇〇	五〇,一七〇	二六	二五,二六四	一〇,七八六	二,〇〇〇	4.53
合 計	一八八,六三六	二二八,九八三	六七	二九,七七九	三,八四八	八五,六三九	4.5
萬國商船會社(モルガン合同)	二〇,三三七	一四,九六七	二二	一〇,五七二	二七,〇二六	—	—

旅客船ニアリテハ右表ノ示ス如ク二十會社ノ平均配當率四分五厘五毛ニシテ、且ツ之等ノ會社ハ比較的完全ナル減價償却金ヲ爲シツ、アルモノナレバ、前掲ノ貨物船ノ場合ニ比シ稍良好ナル成績ヲ示シタルモノナリトス。然レドモ内有名ナル彼阿會社ノ年九分ノ配當金ヲ控除シテ平均ヲ算出スルニ於テハ僅カニ年四分ニ當ルニ過ギズ。之ヲ海運業ノ如キ危險多キ營業上ノ利

益ナリトセバ、誰カ其ノ甚ダ少額ナルニ驚カザルモノアラシヤ。況ンヤ更ニ會社ノ内部ニ立入り、船舶ノ減損ノ場合ニ處スベキ保險方法等ノ處置方針ノ如何等ヲ研究スルニ於テハ、海運業ニ對スル放資ガ他ノ事業ニ比シテ頗ル不利益ノ點アルコトヲ發見スルニ至ランナリ。聞ク所ニヨレバ之等名聲アル旅客汽船業者ノ中ニアリテモ其所有船舶ノ一部ヲ保險ニ附スルノミニシ

テ、自保險ノ部分ニ對シテハ何等ノ積立金ヲモ爲サルモノアリトイフ。畢竟ズルニ此ノ如キハ海運業ノ不振ニヨリ收益ノ減少ヲ見タル結果ナリト云ハザルヲ得ズ。

以上ハ兎ニ角一定ノ資本ヲ有シ、夫レ夫レ適當ナル經營ノ下ニアル會社ノ場合ナリト雖モ、英國ニハ此他長期信用ニヨリテ船舶ヲ購入セル船主アリ。即チ船舶購入ノ資金ヲ有セズシテ、其ノ船舶ヲ抵當トスル長期ノ手形ヲ發行シ、之ヲ造船業者ニ支拂フモノニシテ、之等ノ船主ニアリテハ其ノ船舶ヲ航海セシムル事ニヨリ、單ニ一定ノ收益ヲ得ルノ外、船舶ノ原價及利子ヲ支拂ハザルベカラズ。從テ現今ノ如キ不況ノ場合ニアリテハ其困難一層激甚ナルモノアリトス。殊ニ海運業不振ノ結果船價ハ近時著シク下落シ、ソノ抵當ヲ維持スルコトスラ頗ル困難トナリタルヲ以テ悲慘ノ狀前表ノ諸會社ニ比シ遙カニ大ナラントス。「エコノミスト」記者ガ之ヲ

序シテ、之等ノ船舶ハ「損失ニ向テ航海シツ、アルニアラズ、破産ニ向ツテ航海シツ、アルモノナリ」ト云ヘルハ蓋シ穿テリトイフベシ。

之等海運業ノ不況ニ對シ種々ノ救濟策ヲ主張スルモノナキニ非ズ。例ヘバ一般積荷ヲ制限シテ一割乃至一割五分ヲ減少セシメ、以テ運送貨物ノ分配ヲ平均ナラシメ、繁船ニヨル損失ヲ逸レシメント議スルモノアリ。或ハ舊「吃水線法」ブリムフルアクトヲ復舊シ、以テ英國船ノ積載量ヲ減少セシメント計ルモノアリ。然リト雖モ此ノ如キハ到底實行セラルベキモノニアラズ、且ツ自然的海上商業ノ復舊ヲ見ザル限りハ到底充分ナル利益ヲ收ムル事能ハザルハ明カナル所ナリトス。

故ニ今日ニ處スルノ途ハ唯ダ新造船ノ築造ヲ見合セ無用ノ船舶ヲ繁船セシメテ以テ時機ノ到ルヲ待ツヨリ外ナカルベキナリ。

英國ニ於ケル海運業ノ不況ハ夫レ此ノ如シ。予ハ之レニ對シ少シク獨逸ニ於ケル汽船業ニ就

テ觀察ヲ試ミント欲ス。

今前記英國ノ例ニ倣ヒ獨逸ニ於ケル主要汽船

會社ノ千九百六年度營業成績ヲ表ヲ以テ示サン
ニ左ノ如シ。

社名	資本金	船		帳簿上船價	配當金	同上率
		艘數	總噸數			
ホルン汽船會社(リュベツク)	三,五〇〇,〇〇〇馬	一〇	三,三三三	四,五〇〇,〇〇〇馬	一四〇,〇〇〇馬	4分
漢堡南亞米利加	一,一五〇,〇〇〇	三七	一六,三五〇	三,二七七八九	一二五,〇〇〇	10
アルハトダンフエル會社(リュベツク)	一,〇〇〇,〇〇〇	六	六,三三三	二,八三三六	四〇,〇〇〇	4
アルゴア汽船會社(アレメン)	七〇〇,〇〇〇	三三	五,五四八	八,三三九九五	三五〇,〇〇〇	5
コスモス汽船會社(アレメン)	一,一〇〇,〇〇〇	三六	一四,二六五	三,四三三	一五〇,〇〇〇	14
漢堡亞米利加	一,〇五〇,〇〇〇	一四二	九六,四九三	一五,七九四六三	一〇五,〇〇〇	10
北獨逸ロイド(アレメン)	一,一五〇,〇〇〇	一〇〇	六〇,〇四〇	一六,八九四三	一〇六,五〇〇	8½
ネプチュン汽船會社(アレメン)	五〇〇,〇〇〇	六四	四,五〇〇	八,一九二〇〇	四〇,〇〇〇	8
ユニオン汽船會社(ハンブルヒ)	六〇〇,〇〇〇	二三	四,七九一	九,六五〇〇〇	四八,〇〇〇	8
獨逸東阿線	一,〇〇〇,〇〇〇	二八	一七,五四三	二,〇九二〇〇	—	—
ハンジヤチツシユ、ロイド(リュベツク)	一,六〇〇,〇〇〇	三	二,七六六	九六,〇〇〇	—	—
オルデンブルヒ、ホルトギー會社 (オルデンブルヒ)	二,一〇〇,〇〇〇	二〇	二七,四七〇	三,九六〇〇六	三〇,〇〇〇	10
ハンザ汽船會社(アレメン)	二,五〇〇,〇〇〇	五	三,四〇〇〇	三,五八七〇	一五〇,〇〇〇	6
獨逸境太利會社(ハンブルヒ)	二,〇〇〇,〇〇〇	三三	一六,三三三	二〇,七八九五	九〇,〇〇〇	8

レーテライ會社(一八九六)(ハンブルヒ)	三〇〇〇〇〇〇	二〇	三〇〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	5
ハンジャチツシユ一汽船會社(ハンブルヒ)	二〇〇〇〇〇〇〇	六	二〇〇〇〇〇〇〇	六〇〇〇〇	3
フレンスブルタル會社(一八九六)	二〇〇〇〇〇〇〇	八	二〇〇〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	5
ハンブルヒ、ブレメン、アフリカ線	三〇〇〇〇〇〇〇	九	二〇〇〇〇〇〇〇	九〇〇〇〇	3
獨逸レザアン線	六〇〇〇〇〇〇〇	六	六〇〇〇〇〇〇〇	—	—
ローランド線(ブレメン)	七〇〇〇〇〇〇〇	六	七〇〇〇〇〇〇〇	—	—
合 計	三六六四五〇〇〇〇	六二	三六六四九三〇	二六二二〇〇〇〇	8.14
邦貨換算額	一七三二五〇〇〇		一七三二五〇〇〇	一四二一〇〇〇〇	

右ノ表ニ就テ見ルニ獨逸ノ二十會社ノ資本金總額一億七千三百二十二萬餘圓ニ對シ、配當金千四百一十一萬圓即チ年八分一厘四毛ヲ配當セリ。千九百七年度ニ於テハ太西洋航海ニ從事セル獨逸汽船モ前掲ノ運賃市場ノ不況、賃銀、諸物價ノ騰貴等ニヨリ大ニ其ノ收益ヲ減少スルニ至レリ。今之ヲ同國ニ於ケル二大汽船會社ニ就テ其ノ配當ヲ見ルニ

千九百七年	千九百六年	千九百五年
度配當	度配當	度配當
六分	一分	一割一分
北獨逸ロイド	八分五厘	七分五厘

ニシテ之ヲ前年度ニ比シ著シキ不成績ナリシト云フベシ。然リト雖モ之ヲ要スルニ獨逸ニ於ケル汽船業ハ英國ニ於ケルモノニ比シ、概シテ良好ノ成績ヲ收メタルモノニシテ、此ノ如キハ一ニ同國ニ於ケル海運業保護ノ結果ナリトセザルヲ得ズ。例ヘバ英國ニ於テハ「吃水線法」(Load Line Regulation) 其他諸種ノ法規ニヨル船主ノ負擔ノ過重ナルニ反シ、獨逸ニ於テハ鐵道賃率ノ割引(Preferential railway rates) 其他特別航路ノ補助

等之ヲ英國ニ比シ船主ノ受クル所ノ保護頗ル厚
キモノアルヲ以テナリ。

予ハ未ダ佛國ニ於ケル汽船會社ノ營業成績ヲ
知ルコトヲ得ズト雖モ、前記英獨ニ於ケル場合
ト等シク困難ナル狀況ニアルモノト信セザルヲ
得ズ。要スルニ太西洋ニ於ケル海運業ガ今ヤ此
ノ如キ非常ナル不況ヲ極ムルニ至リタルハ船舶
ノ過剩、貿易ノ不振、及ビ之レニ原因スル運賃
ノ競争石炭及諸物價竝ニ勞銀ノ騰貴等ニ歸セザ
ルヲ得ズ。而シテ之レガ救済ノ途ハ唯ダ新造船
注文ノ見合セニヨリ船舶ノ増加ヲ止メ、經濟市
場ノ繁盛ノ再來ヲ待ツヨリ外ナカルベシ。我國
ニ於テモ將ニ海運業ノ非常ナル不況ヲ招カント
シツ、アリ。職ニ當ルノ人深ク將來ニ留意スル
所ナクンバアラズ。